



全老健第 3-228 号  
令和 4 年 1 月 27 日

ワクチン接種推進担当大臣  
堀内 詔子 殿

公益社団法人全国老人保健施設協会  
会 長 東 憲 太 郎



## 新型コロナワクチン追加接種（3 回目）推進に関する要望について

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応について、多大なるご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、オミクロン株による急激な感染（第 6 波）拡大が進んでいるなか、政府では、高齢者施設及びその従事者のワクチン追加接種（3 回目）の前倒しを決定し推進されているところですが、実際の現場においては、追加接種（3 回目）がなかなか進んでいない現状がございます。

そこで、全国の高齢者施設の現状を踏まえて以下の点について要望いたします。

### 【要望事項】

#### 1. 追加接種(3 回目)までの間隔の更なる短縮

現在、高齢者施設等の従事者の家族等に陽性者が発生し、健康観察で待機せざるを得ない従事者が多く現場がひっ迫しております。従事者本人は追加接種をしているものの、その家族の追加接種が進んでいないことも原因のひとつです。また日本では、予防接種実施要領において接種間隔が「6 か月以上」と定められておりますが、海外では 3～5 か月の間隔で追加接種を開始している国もあります。そこで、従事者の家族等も迅速に追加接種ができるよう接種間隔の更なる短縮を要望します。

#### 2. 接種券無しでの追加接種の推進

介護現場では接種管理の煩雑さを防ぐため、接種券の配布を待って追加接種を開始するところも多くあるようです。現状の感染爆発を踏まえると一刻の猶予なく追加接種をすることが重要と考えます。そこで、政府として接種券無しでの追加接種の強力な推進を要望します。

#### 3. モデルナワクチンによる追加接種の推進

現状、モデルナワクチンによる接種を希望する方が少なく、接種会場の予約も埋まらず、当該ワクチンによる接種が進んでいない状況があります。

それは、ファイザーとモデルナのワクチンの混合接種による抗体価が最も高いことやモデルナの追加接種ワクチン量が半分で済み副反応も抑えられていること等のメリットが周知されていないことがひとつの要因です。

そこで、政府としてモデルナワクチンによる追加接種が進むよう強力な広報をしていただくよう要望します。

以上